# 取扱説明書

## MyMemoria (マイメモリア)

## USB フラッシュメモリー

株式会社ドンウンインターナショナル

www.dong-woon.co.kr

REV. A

# 目次

# 1. 製品のご案内

## 1-1 紹介

My Memoria USB Driveはフラッシュメモリーを用いた携帯用データ貯蔵装置であります。
既存の貯蔵媒体を代替する製品で、用量2GBより16GBまで揃えてあります。
小型軽量で、色んな優れたデザイン、USB1.1/2.0(高速)サポート、生活放水、LOGO記入対応、ジュエリー形で、アクセサリーとしても幅広く活用可能な製品で有ります。
それに次世帯技術のCOBで作った物です。

秘密文書及び プレゼンテーションファイルを数多く扱う会社員様、グラフィックファイルを度々バックアップして置くグラフィックデザイナー様、各種統計資料を含めたレポートを提出する学生様にとって非常に便利で大事な物です。

プラグ・アンド・プレイ機能で、何時でも何処でもドライバー設置一無しでそのままパソコンとかノートPCに差し込んで使えますし、パスワード機能で自分が作ったパイルを保護する事も可能です。

- 超小型携帯形データ貯蔵装置
  - 別度のドライバー設置一無しで多様な運営体制で動作可能
    (但し、WIN98以外)

- プラグ・アンド・プレイ
  - パソコンとかノートPCに差し込んだら読み取り、書き込み可能
  -
- 別度の電源要らない
  - バタリー及び外部電力必要無しでホスト(パソコン、ノートPC、カーナビ等)のUSB自体電力を使います。
  -
- 生活防水機能
  - メモリアUSBフラッシュメモリーはCOB(Chip On Board)タイプの製品で、長期間水の中に置いておいてもその後取り出して接続端子の水分を良く乾燥したら再度使える特徴が有る物です。

## 1-2 製品特徴

- 超小型、超軽量、スリムと設計
- COBタイプで一般的なSMDタイプよりはるかに優秀な信頼性
- 最新のSMI社USBコントローラー搭載
- SAMSUNG、MICRONの最新のメモリー搭載
- セキュリティー、 パーティション割り当て支援

## 1-3 製品仕様

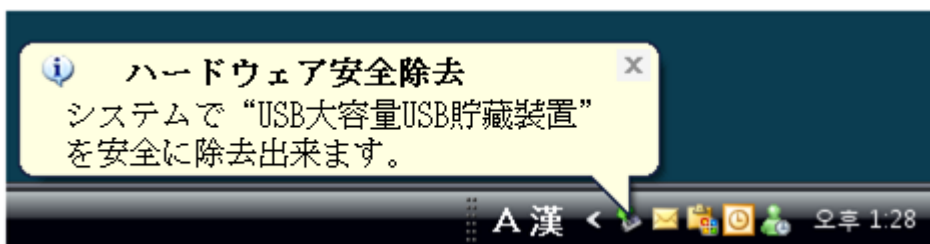
| インターフェース | USB 2.0 /(1.1互換) |
|---|---|
| 使用可能OS | Win 98(SE), ME, 2000, XP, 2003, Vista<br>[Win 98(SE)はドライバー設置必要]<br>Mac OS 9.0 + / LINUX Kernel Version 2.4.0 + |
| 用量 | 2GB, 4GB, 8GB, 16GB |
| データ保存期 | 10 年 |
| 読み取り/書き込み速度 | 読み取り32MB/sec, 書き込み10MB/sec |
| 電源 | USB Bus-powered (별도 전원 불필요) |
| 構成 | 本体、携帯電話ストリング、 ネックレス(オプションで販売) |
| 製造社 | 株式会社ドンウンインターナショナル (#82-2-598-5240) |

## 1-4 使用前主義事項

- 熱、 直射日光、水より離れて下さい。
- 曲げ無いで、折らないで下さい
- 熱、直射光線, 水から離れて置いて、折るとか曲げる事は必ずしないでください。
- それに落さないでください。
- データの損失及び致命的な損傷を防ぐ為、データが転送去れている間には絶対にUSBポートから 外さないで下さい。下記に用に安全に取り外す方法を守って下さい。

## ※ メモリアUSBフラッシュメモリードライバーを安全に取り外す方法。

ア。 上の画面のようにハードウエア安全除去アイコンを マウスの右のボタンで クリックします。

イ. 上の画面のように ポップアップ・メニューで、"Memoria USB Drive"を探してマウスの左のボタンで除去をクリックします。

ウ. 画面のように風船模様のヘルプ(ハードウエア安全除去)があらわすとマウスの左ボタンをクリックして"Memoria USB Drive"を除去します。

- USBフラッシュメモリーの書き込み/読み込み速度は装置中身のフラッシュメモリー/コントローラーの種類と相性それにパソコンのシステム環境によって差が有ります。
- 当社ではソフトウェア及びデータの被害に対しては責任を持ちません。
- 製品ひ含まれたアクセサリーは事前予告なしで変更の可能性が有ります。
- 製品性能向上の為外観、包装使用は事前予告なしで変更の可能性が有ります。

ダウンロードしたパイルの圧縮を解くと下のようなホルダーとファイルが出てきます。
- Win98_driver ： ウインドー98(SE)用のドライバーが入ってあるホルダーです。
- UFD_Manager.exe ： 専用のユーティリティー(パーティション/保安領域設置)ファイルです。

# 2 ドライバー設置(ウインドー98、SE)

ウインドーXP, VISTA, ME, MAC OS 9.x以上, Linux Kernel2.4以上のバージョンでは別度で、ドライバーを設置する必要はありません。
ウインドー98及びウインドー98SE御利用の方は下の手順でドライバーを設置御願いします。

2-1 Memoria USB Drive(メモリアUSBドライバー)本体をUSBポートに差し込むとく

新しいハードウエア設置魔法師が実行されます。

2-2 ドライバー指定画面で〈特定位置指定〉を選択して、ダウンロードして置いた〈win98_driver〉ホルダーを指定し〈続き〉のボタンを押します。

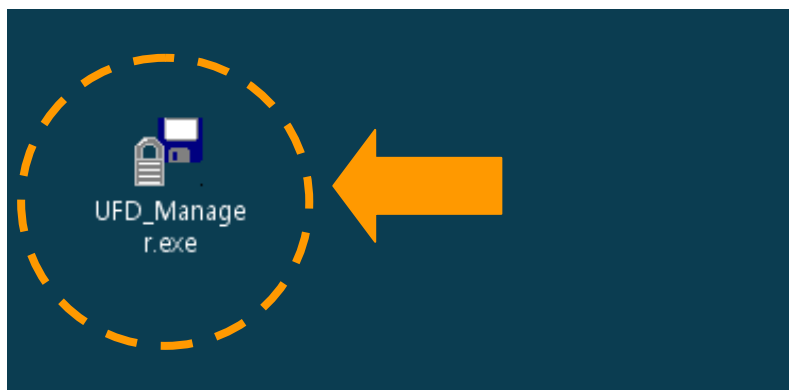
2-3. 画面で 〈USB MEMORY〉を選択して〈続き〉のボタンを押します。

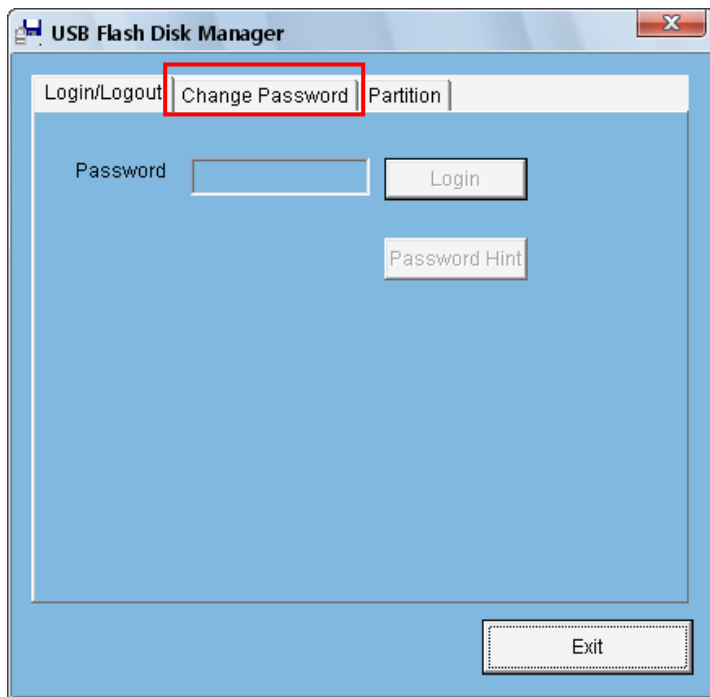
2-4. 〈終わり〉のボタンを押して終わります。

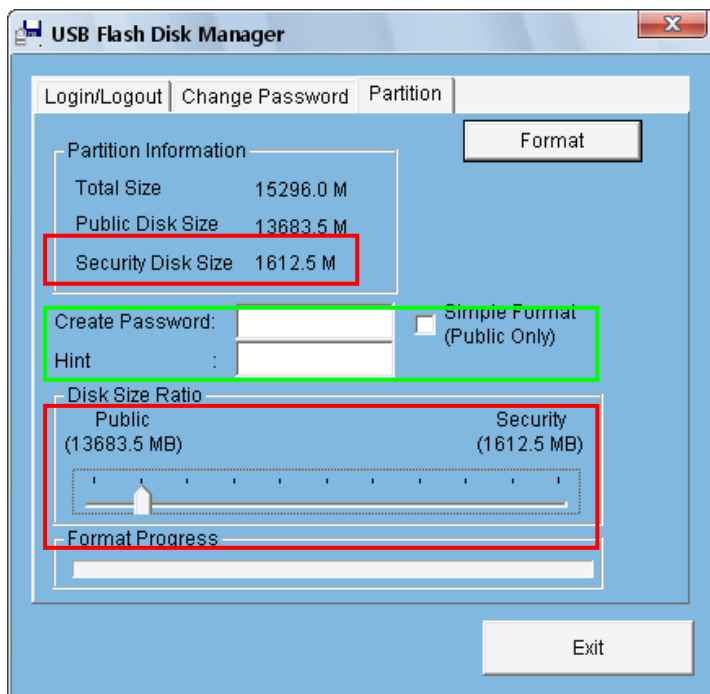
# 3. ユーティリティー活用 (USB Flash Disk Manager)

メモリアUSBドライバー (Memoria USB Drive)は保安パスワード及びパーティション割り当て機能の為、USB フラッシュメモリーディスク管理(USB Flash Disk Manager)ユーティリティーを基本に提供します。
詳細の使い方は下記の説明を御参考御願いします。

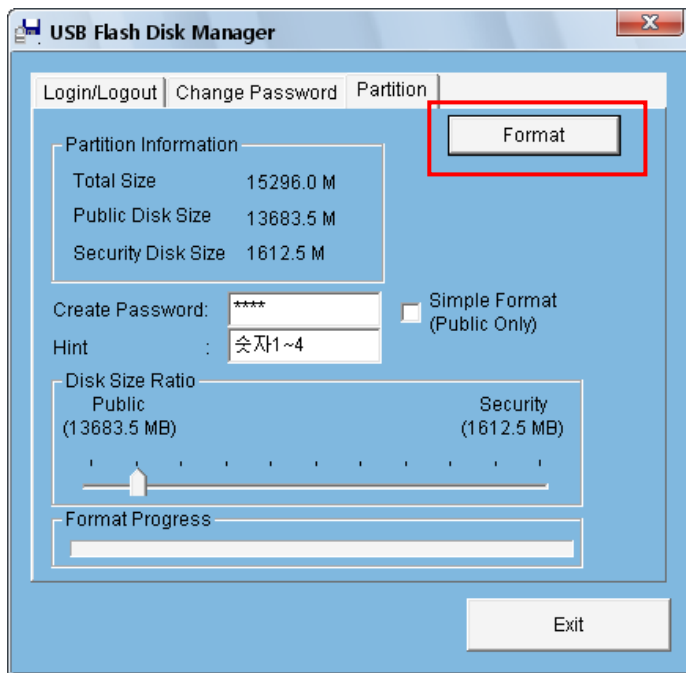
## 3-1 プログラムダウンロード及び実行

ア. (株式会社)ドンウンインターナショナルのホームページ(http://www.dong-woon.co.kr)に接続してプログラムをダウンロードします。
或いは、販売先のウエブで獲得したア。と同じ情報を用意しておきます。

イ. ダウンロード(用意したプログラム)したホルダー内容で、"UFD_Manager.exe"を実行します。

## 3-2 パーティション割り当て方法

ア. 初期実行画面です。

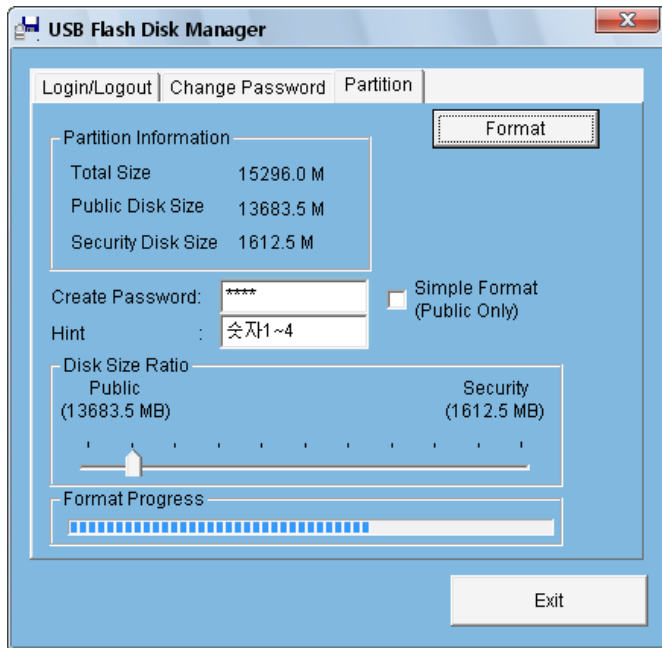
最初実行したらボタンは全部非活性化(クリック出来ない)状態と設定されて有ります。

イ. 下の側赤い四角のボックスに有る棒グラフを動かして割り当て用量を決定します。

用量は上側のセキュリティー用量になります。

セキュリティー領域ではパスワードとヒントを入力します。

ウ. パスワードと保安領域を決定して、上のようにフォーマット<Format>ボタンをクリックします。

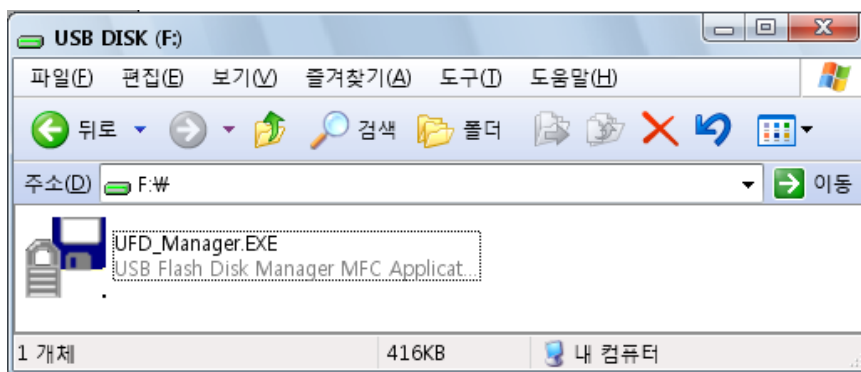
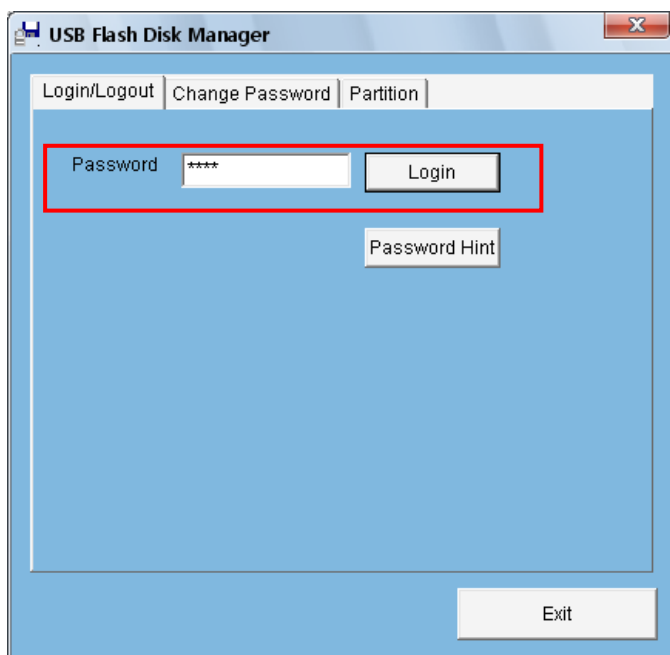
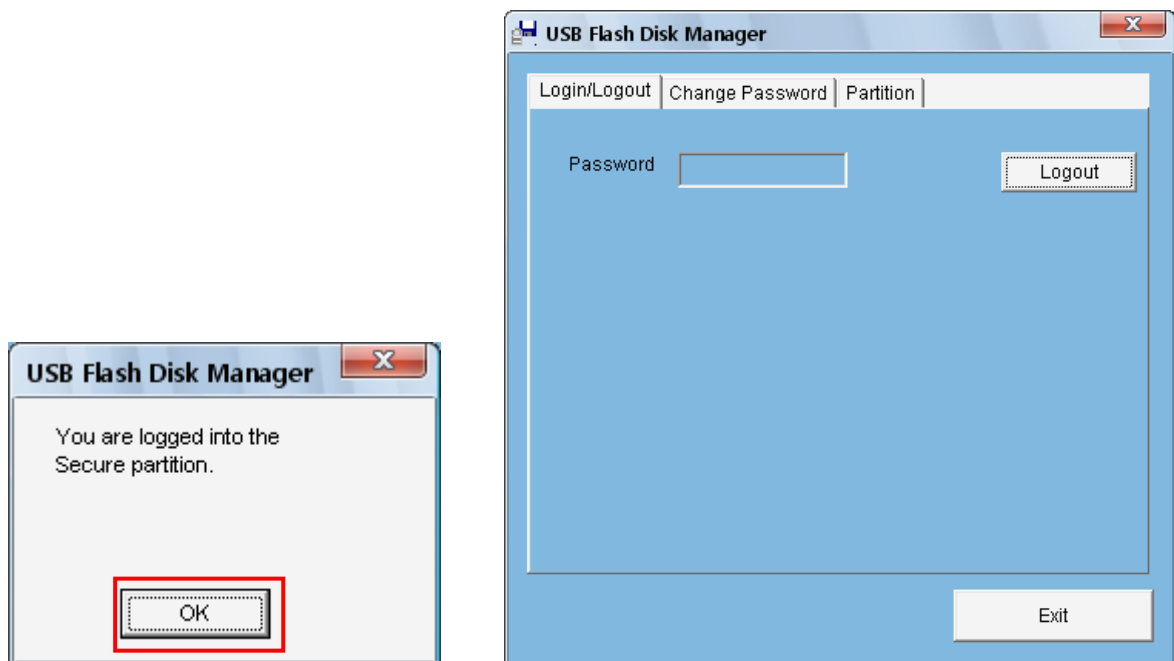
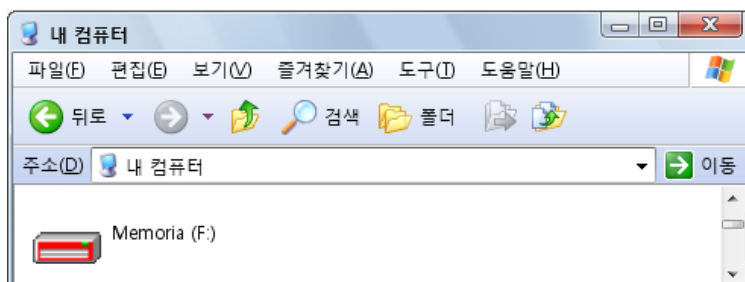
エ. パーティションを分けるとメモリアUSBドライバー(Memoria USB Driver)に入ってあるデータは全て削除さ(フォーマット) れます。
大事な情報が入ってる時にはパーティション<Partition>ボタンを押す前に必ず、他の所にコピー取って置いてから進んで下さい。

警告メッセージを確認した後、続いてパーティションを分ける時にはPartitionボタンを押して下さい。

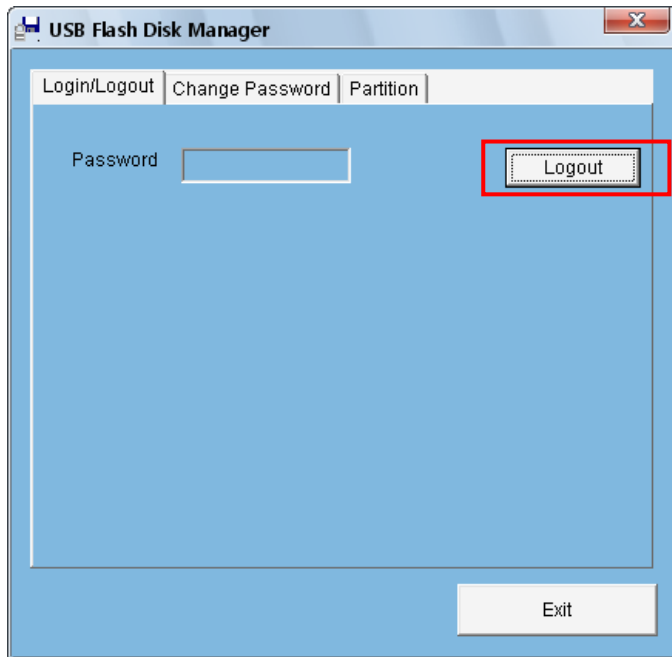
オ. メモリアUSBドライバーがフォーマットされると一般領域(Public Disk Space)と保安領域(Security Disk Space)に割り当てされます。

カ. 全ての作業完了後USBポートからメモリアUSBドライバーを取り外して再び差し込みます。
保安パスワードの値を“パスワード生成(Create Password)”の設定値に指定します。
上記の“1111”は例です。

## 3-3 保安領域(Security Disk Space)使い方（ログ・イン）

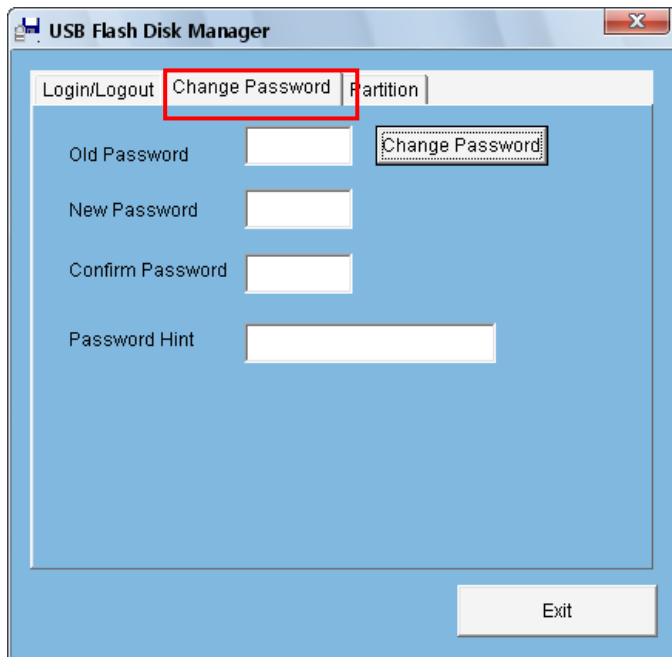
3-1と3-2で行われた手順で保安領域を割り当ててメモリアUSBドライバーの用量を確認したら割り当てた保安領域の用量が除かれた状態で表示されます。
割り当てた保安領域はパスワードを入力してログ・インしない限り探索(explore)キーで検索/表示されません。

ア. 保安領域を割り当ててメモリアUSBドライバーを差し込むと下のようにUFD_Manager.exeが出てきます。

USBフラッシュ ディスク マネージャー(USB Flash Disk Manager)が設置されていないパソコンではメモリアUSBドライバーの保安領域にログ・インする為必要なファイルですので、削除しないで下さい。

イ. ダウンロードしたUSBフラッシュ ディスク マネージャーを行ったり、メモリアUSBドライバーに入ってあるUFD_Manager.exeファイルを実行すると下記のようなログ・イン画面があらわします。初期のパーティションを分ける時には設定して置いた値を入力して<ログ・イン>ボタンをクリックします。

ウ. ログ・イン成功したら下の画面が出てきます。

エ. 保安領域にログ・インしたらマイコンピューター或は探索(explore)キーで一般領域が表示されません。ログ・イン後には保安領域だけ接近出来ます。
それに、メモリアUSBドライバーの用量も保安領域だけが表示されます。
(保安領域でログ・インした場合にはアイコンが変更されます。)

## 3-4 保安領域(Security Disk Space)使い方 (ログ・アウト)

ア. 保安領域でログ・インする為には作業表示線のUSBフラッシュディスク マネージャーのアイコンをダブルクリックしてUSBフラッシュディスク マネージャーを行います。

イ. 上のような画面でログ・アウトボタンをクリックします。

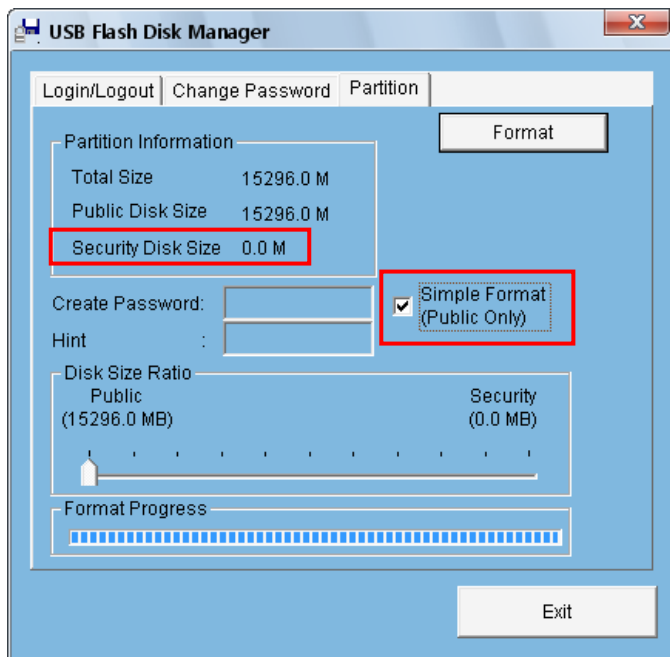
ウ. ログ・アウト成功したら下の画面が出てきます。
〈OK〉ボタンを押しログ・アウトを終わります。
なお、マイコンピューター或は探索(explore)キーで確認してみると一般領域に戻って来た事が分かります。

## 3-5 保安領域(Security Disk Space)のパスワード変更

メモリアUSBドライバーは強力な保安領域を提供します。
これを通して自分だけ分かるパスワードに変更して保安性を上げて下さい。
パスワードはログ・アウト状態で変更可能です。

- Old Password : 現在使っているパスワードを入力します。
- New Password : 新しいパスワードを入力します。
- Confirm Password : 新しいパスワードを再び入力します。
- Password Hint : パスワードが覚えられるヒントを書いておきます。

注意!!!
パスワードを紛失したら保安領域に接近出来ません。必ず、パスワードが覚えられるヒントを書いておいて万が一の場合に備えて下さい。
パスワードを紛失した場合には保安領域のパーティションを削除してその後再度パーティションを分けるしか仕方無いので保安領域に貯蔵されてあるデータは復旧出来ません。

## 3-5 保安領域(Security Disk Space)の削除

保安領域(Security Disk Space)を削除する場合には先ずパーティションを一つにします。
保安領域を削除する過程でメモリアUSBドライバー全体がフォーマットされます。
保安領域を削除するする前に必ず、保安領域と一般領域の全てのデータを他の所にコピー取って置くようにお願いします。

ア. USBフラッシュディスク マネージャーでパーティション<Partition>タップをクリックして中央部分のシンプルフォーマット<Simple Format(Public Only)>値をチェックした後保安領域の大きさを"0"に変更します。

イ. 続いてパーティション<Partition>ボタンをクリックしたら保安領域が削除されメモリアUSBドライバー全体が一つのディスク(一般領域)と認識されます。

注意!!! ： 保安領域のパスワードを問わずに直ぐ初期化されます。必ず、確認して下さい。

# 製品保証書

| 品名 | SBフラッシュメモリーディスク |
|---|---|
| モデル | スワロブ/チェス/チタニウム |
| シリアル番号 | |
| 吸入日日 | 200 年　月　　日<br>- 領収書の日日基準<br>- 領収書無しの場合には製造日から1ヶ月適用) |
| 保証期間 | 無償で1年、有 償では2年 |

■ 海外では製品の修理、交換、払い戻しに対した保証基準は販売拠点にて対しております。韓国国内では製造会社で韓国国内法律に従います。

■ 海外の御客様で製品の故障発生時販売拠点から対応出来ない場合には造会社のホームページのQ&A掲示板或は顧客支援センター宛に御連絡お願いします。

ア. 電話:韓国(82)-2-598-5240 (業務時間:10:00~18:00、土/日/祝日御休み)
イ. 昼の休憩時間にはサービスしておりません。
ウ. ホームページ: www.dong-woon.co.kr
エ. 御住所 : Dongwoon International Co., Ltd.
My Memoria Customer Service Center
9F, Arirang Tower, 1467-80, Seocho-3dong, Seocho-Gu, Seoul, KOREA
(Zip code : 137-868)

■ 無償サービス基準

ア. 製品を供給して保証期間以内で、製品の規格異狀、品質不良、その他の理由で問題が生じた場合には新品に交換して上げます。
イ. 保証期間の間取り扱い不注意とか製品毀損の影響で発生した故障以外には無償サービスを支援します。
ウ.修理部品の保有期間はたん主断種してから3年間です。

■ 有償サービス基準

ア. 諸費者の取り扱い不注意或は任意修理、改造で故障発生した場合
イ. 電源不良によるぎき器機の修理及び再調整が必要な場合
ウ. 火事、水災、地震、落雷等によった天変地異で生じた故障
エ. 無償保証期間が終わった場合。